

名古屋池下「自然破壊のマンション建設」

名古屋市千種区池下は馴染みの場所だ。名古屋市立女子短大に就職して、自宅の東山公園から地下鉄で池下まで行き、バスか歩いて大学まで通った。池下駅近くの屋台で、美味しい焼き鳥と熱燗を味わった。その後、退職までお世話になった「當り屋」さん。写真は地元のフリーペーパーで紹介された「當り屋」さん。屋台の先代の頃、そしてオヤジさん。看板メニューは味噌カツであり、また食べたくなった。



2014年2月22日、「最終講義」のあとで卒業生らと、ここ2階を貸し切り、パーティを開催した。短大時代からゼミのコンパは、この2階だった。信州の宮本塾の人たちの懇親会も、ここで開催した。

もっと昔は、池下近くの国鉄アパートから高見小学校に通った。池下から覚王山日泰寺あたりまで坂道をよく歩いたものだ。「白い街」と言われた名古屋のなかで、緑多く、景観を楽しめる地区であった。名古屋にとって、今では貴重な地域だったと思う。



そんな池下駅近くで、「ライオンズマンション建設反対」という、大きなアピール写真と投稿を読んだ。ライオンズ、大京の中古マンションに東山で住んだこともあるが、こんな酷いことをするとは。ライオンも怒りの表情を見せている。とにかく自然破壊のマンション建設だ。建設に反対する団体のネットから、すこし紹介したい。



ライオンズマンション建設予定地は、かつて「よし川ヴィレッジ」と言い、緑の木々のなかに、フレンチや和食などのお店が点在していました。



うぐいすが春の訪れを告げ、夏には蝉時雨が降り注ぎ、秋になると鈴虫の声に耳を傾け、雪が降れば木々が白く染まる。そんな素晴らしい環境でした。昨年12月までに、これらの建物は全て解体され、樹木も伐採されました。

長年ここで暮らす住民から、マンション建設に反対、緑を残してほしい、工事用道路について大京に申し入れたが、まったく住民の声を聞こうとしない。ライオンズマンションの建設のことで、名古屋市に相談に行っても、「建設業者にも建てる自由がある」などと言われてしまう始末。環境保全が叫ばれるなかで、これが現実とは悲しくなる。

(2021年12月1日)